

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																	
DXによる市民サービス向上	1	証明書コンビニ交付サービス維持管理事業	マイナンバーカードを活用した証明書コンビニ交付サービスを実施する。	区政推進課	全有料証明書に占めるコンビニ交付の利用率の向上	R5	31.3%	R9年度までの目標：50.0%	単年度目標設定なし								54,052
Ⅲ「安らぐまち」の実現																	
防犯カメラや防犯灯の増設やAIなどの技術を取り入れた防犯対策の更なる推進	2	主要駅周辺への防犯カメラ設置事業	安全・安心な市民生活を確保し、犯罪に強い都市づくりを推進するため、主要駅周辺に防犯カメラの設置、運用を行う。	安全・安心推進課	刑法犯認知件数	R6	6,482件	—	R6年比減								44,920
	3	防犯灯設置事業	安心して生活できるまちづくりの推進の一環として、夜間における犯罪の発生を防止し公衆の通行の安全を図るため、LED防犯灯を設置する。	安全・安心推進課	刑法犯認知件数	R6	6,482件	—	R6年比減								65,647
暴力団対策の強化、市外発信による「安全・安心なまち」のイメージ定着	4	暴力追放推進・支援等事業	市民、企業、団体等が暴力団排除の認識を深め、暴力団排除活動に取り組むことができるよう広報啓発及び支援を行っていく。 また、福岡県警や（公財）福岡県暴力追放運動推進センター、北九州暴力追放推進会議、各区防犯協会等とも連携を図り、暴力排除並びに地域防犯活動を推進することで、安全・安心なまちづくりを進めていく。	安全・安心推進課	暴追対策に対して評価した市民の割合の増加（行政評価市民アンケート：毎年度）	R7	R7年度実績値	—	R7年度比増								7,847

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 （千円）	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
	5	若者の犯罪行為への加担防止啓発事業	若者が「闇バイト」等の犯罪行為に加担することを防止するため、市内でウェブを閲覧する若者を対象としたターゲティング広告やホームページ等で広報啓発を行う。	安全・安心推進課	暴迫対策に対して評価した市民の割合の増加（行政評価市民アンケート：毎年度）	R7	R7年度実績値	—	R7年度比増								850
ソーシャル・キャピタル（地域における繋がり）の強化	6	地域総括補助金	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部局が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を一本化し、まちづくり協議会に交付する。 地域総括補助金が校区内の課題解決に向けた横断的な取組につながるよう、制度の目的や活用事例の周知を図る。	地域振興課	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	H26	130団体	—	137 団体								267,959
	7	現場主導・課題即応型地域・人づくり事業	地域の特性や課題に即応できるよう、既存の補助メニューや地域の人材育成にかかる事業を集約し、区役所主導で柔軟に支援できる体制を構築する。	地域振興課	地域づくり活動への参加者の割合の増加（行政評価市民アンケート：毎年度）	H29	39.6%	—	50.0 %								52,540
	8	市民センター管理運営・整備事業	市民（サブ）センター136館の管理運営・整備を行い、市民センターを拠点とした地域づくりを推進する。	地域振興課	若者・現役世代の利用率の増加	R6	20.4%	—	R6年度比増								1,703,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 （千円）	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
地域活動の抜本的な見直しによる活発化	9	次の10年・地域づくり先行モデルプロジェクト	次の10年を見据えた地域コミュニティの形を先導するモデル地区を選定し、事務負担の見える化・最適化や、特性を活かした多世代協働のモデル事業を実施する。	地域振興課	モデル地域の地域課題に応じて検討・設定	—	—	—	—								9,000
	10	地域のチカラつなぐ事業	市民同士の”互助”を促進するため、個々のスキルや空き時間を地域で役立てる「タイムバンク」の社会実装に向けた調査研究を行う。 また、回覧板のデジタル化やLINE活用により地域情報のスムーズな伝達と共有を図る。	地域振興課	デジタルプラットフォームの社会実装	—	—	R10年度までの目標：社会実装	単年度目標設定なし								14,000